



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月1日

上場会社名 株式会社 福井銀行
 コード番号 8362 URL <https://www.fukuibank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表執行役頭取
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 林 正博
 (氏名) 西村 昭弘
 TEL 0776-24-2030
 特定取引勘定設置の有無 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	32,581	7.0	4,853	49.9	3,416	82.2
2020年3月期第3四半期	30,436	△3.4	3,236	△0.7	1,874	△20.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 13,519百万円 (241.8%) 2020年3月期第3四半期 3,954百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	143.89	—
2020年3月期第3四半期	78.57	—

(注)「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式がないので記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,493,802	136,277	3.9
2020年3月期	2,951,019	123,759	4.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 136,277百万円 2020年3月期 123,759百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率開示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	△3.3	2,400	12.1	101.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	24,144,669 株	2020年3月期	24,144,669 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	339,976 株	2020年3月期	429,496 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	23,743,616 株	2020年3月期3Q	23,855,080 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。(詳細は、【添付資料】p2.「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。)

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) 追加情報	7
(6) 重要な後発事象	7
4. 補足情報	8
(1) 2021年3月期第3四半期 損益の状況（単体）	8
(2) 金融再生法開示債権（単体）	9
(3) 時価のある有価証券の評価差額（単体）	9
(4) 自己資本比率（国内基準）	9
(5) 預金、貸出金等の状況（単体）	10
① 預金等・貸出金の残高（末残）	10
② 個人・法人別預金残高（含む譲渡性預金）（末残）	10
③ 預り資産残高（末残）	10
④ 消費者ローン残高（末残）	10
⑤ 中小企業等貸出金残高（末残）・比率	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常収益は、有価証券利息配当金や株式等売却益が増加したことなどから、前年同期比21億44百万円増加し325億81百万円となりました。また、経常費用は国債等債券売却損が増加したことなどから、前年同期比5億27百万円増加し277億28百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比16億17百万円増加し48億53百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比15億42百万円増加し34億16百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比5,427億円増加し3兆4,938億円、純資産は前連結会計年度末比125億円増加し1,362億円となりました。

主要勘定につきましては、貸出金は、事業性貸出金及び消費者ローンが順調に増加したことなどから、前連結会計年度末比711億円増加し1兆7,903億円となりました。譲渡性預金を含めた預金等は、個人預金、法人預金ともに順調に増加したことなどから、前連結会計年度末比2,671億円増加し2兆7,556億円となりました。また、有価証券は、前連結会計年度末比182億円増加し6,785億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2021年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間において、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が公表しております通期の業績予想を上回っておりますが、今後の経済情勢等により、与信関係費用等が変動する可能性もあることから、現時点において業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の処理

連結子会社の税金費用は、当第3四半期累計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
現金預け金	474,536	925,661
買入金銭債権	951	953
商品有価証券	591	563
金銭の信託	6,504	6,544
有価証券	660,304	678,532
貸出金	1,719,190	1,790,338
外国為替	8,538	8,424
その他資産	54,316	55,987
有形固定資産	27,758	30,456
無形固定資産	310	279
繰延税金資産	2,772	979
支払承諾見返	8,953	9,167
貸倒引当金	△13,707	△14,086
資産の部合計	2,951,019	3,493,802
負債の部		
預金	2,405,819	2,617,437
譲渡性預金	82,726	138,241
コールマネー及び売渡手形	3,809	—
売現先勘定	61,158	80,716
債券貸借取引受入担保金	8,090	8,052
借入金	217,183	475,687
外国為替	195	638
その他負債	30,109	16,468
賞与引当金	228	5
役員賞与引当金	8	6
退職給付に係る負債	5,405	5,433
役員株式給付引当金	144	146
睡眠預金払戻損失引当金	272	214
偶発損失引当金	212	209
耐震対応損失引当金	452	452
ポイント引当金	54	72
繰延税金負債	0	2,143
再評価に係る繰延税金負債	2,435	2,431
支払承諾	8,953	9,167
負債の部合計	2,827,260	3,357,525

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
資本金	17,965	17,965
資本剰余金	5,972	5,972
利益剰余金	87,758	89,983
自己株式	△844	△642
株主資本合計	110,852	113,278
その他有価証券評価差額金	7,412	17,542
繰延ヘッジ損益	△1	△28
土地再評価差額金	5,494	5,483
退職給付に係る調整累計額	1	1
その他の包括利益累計額合計	12,907	22,999
純資産の部合計	123,759	136,277
負債及び純資産の部合計	2,951,019	3,493,802

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
経常収益	30,436	32,581
資金運用収益	18,052	19,493
(うち貸出金利息)	12,247	12,107
(うち有価証券利息配当金)	5,295	6,856
役務取引等収益	5,889	5,686
その他業務収益	5,261	5,832
その他経常収益	1,232	1,568
経常費用	27,200	27,728
資金調達費用	1,185	231
(うち預金利息)	345	187
役務取引等費用	2,217	2,230
その他業務費用	4,528	6,456
営業経費	16,720	17,390
その他経常費用	2,547	1,419
経常利益	3,236	4,853
特別利益	130	15
固定資産処分益	—	15
新株予約権戻入益	130	—
特別損失	244	36
固定資産処分損	113	31
減損損失	17	5
役員株式給付引当金繰入額	113	—
税金等調整前四半期純利益	3,122	4,832
法人税、住民税及び事業税	1,945	1,829
法人税等調整額	△869	△414
法人税等合計	1,076	1,415
四半期純利益	2,046	3,416
非支配株主に帰属する四半期純利益	171	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,874	3,416

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,046	3,416
その他の包括利益	1,908	10,102
その他有価証券評価差額金	1,907	10,129
繰延ヘッジ損益	3	△26
退職給付に係る調整額	△2	△0
四半期包括利益	3,954	13,519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,784	13,519
非支配株主に係る四半期包括利益	170	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

(新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う貸倒引当金の見積り)

当第3四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う貸倒引当金の見積り及び当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

なお、当該貸倒引当金は現時点での最善の見積りであると判断しているものの、見積りに用いた仮定の不確実性は高く、今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況やその経済への影響が変化した場合には、当該貸倒引当金は増減し、連結財務諸表に影響を与える可能性があります。

(6) 重要な後発事象

(株式会社福邦銀行との資本提携の基本合意について)

当行は、2021年1月14日開催の取締役会において、株式会社福邦銀行との間において資本提携の基本合意書を締結することについて決議し、同日に締結いたしました。その内容等につきましては以下のとおりであります。

1. 資本提携の基本合意に至った経緯について

資本提携については、2020年3月13日に発表いたしました株式会社福邦銀行との間における地域経済の発展に向けた包括提携(Fプロジェクト)において、「グループ化を視野に入れた最適な在り方を引き続き協議し、株式会社福井銀行、株式会社福邦銀行の2ブランドを維持しつつ、それぞれの強みを活かし、一つのグループとして地域経済及び両行の持続的発展を目指す」ことを公表しておりますが、福井県の活性化をその使命・役割とする地域金融機関として、地域経済の持続的発展への貢献やこれまで以上に質の高いお客さま向けサービスの提供の早期実現とその効果の最大化に向けて真摯に協議・検討を続けた結果、株式会社福邦銀行との間において資本提携の基本合意に至ったものであります。

2. 基本合意の内容について

(1) 出資形態

株式会社福邦銀行が公的資金の返済を前提に第三者割当による普通株式の発行を行い、当行がそれを引き受けする方針であります。第三者割当による普通株式の発行価額総額は、50億円を予定しております。

具体的な発行条件などにつきましては、今後協議してまいります。

(2) 今後の日程(予定)

2021年5月中旬 最終契約の締結

2021年6月下旬 第三者割当に係る株式会社福邦銀行の定時株主総会の開催

2021年7月以降 第三者割当に係る払込期日

(2021年度中)

※なお、上記日程は、両行において必要な株主総会・取締役会の機関決定及び関係当局への届出、許認可の取得等を前提としております。

4. 補足情報

(1) 2021年3月期第3四半期 損益の状況(単体)

- 当第3四半期のコア業務純益は、有価証券利息配当金の増加を主因とする資金利益の増加等により、前年同期比15億90百万円増加し、45億40百万円となりました。
- 経常利益は、株式関係損益の増加や与信関係費用の減少などから、前年同期比14億9百万円増加し、40億79百万円となりました。
- 上記の結果、四半期純利益は、前年同期比14億18百万円増加し、30億93百万円となりました。

(単位：百万円)

	2020年3月期 第3四半期 (9か月間) (A)	2021年3月期 第3四半期 (9か月間) (B)	前年同期比 (B)-(A)	2021年3月期 通 期 業績予想 (12か月間)
経 常 収 益	24,464	26,291	1,826	
業 務 粗 利 益	19,228	19,962	734	
資 金 利 益	16,529	18,906	2,376	
役 務 取 引 等 利 益	2,033	1,780	△ 252	
そ の 他 業 務 利 益 (うち債券関係損益)	665 657	△ 724 △ 799	△ 1,389 △ 1,456	
経 費 (除く臨時処理分)	15,621	16,222	600	
人 件 費	8,196	8,169	△ 27	
物 件 費	6,540	6,596	55	
税 金	884	1,456	572	
実 質 業 務 純 益	3,606	3,740	133	
コア業務純益(注2)	2,949	4,540	1,590	3,000
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	2,655	2,178	△ 477	
① 一般貸倒引当金繰入額	△ 1,312	523	1,835	
業 務 純 益	4,918	3,217	△ 1,701	
臨 時 損 益	△ 2,248	862	3,110	
② うち不良債権処理額	3,108	262	△ 2,846	
(貸倒償却引当費用①+②)	1,796	785	△ 1,011	
③ うち償却債権取立益	511	200	△ 310	
④ うち偶発損失引当金戻入益	-	2	2	
うち株式関係損益	△ 168	350	518	
経 常 利 益	2,670	4,079	1,409	2,500
特 別 損 益	△ 92	185	278	
税 引 前 四 半 期 純 利 益	2,578	4,265	1,687	
法 人 税 等 合 計	902	1,171	269	
四 半 期 (当 期) 純 利 益	1,675	3,093	1,418	1,900
与 信 関 係 費 用 ① + ② - ③ - ④	1,285	582	△ 703	

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 債券関係損益

(2) 金融再生法開示債権 (単体)

○ 金融再生法開示債権は、2020年9月末比2億円増加して267億円となりました。
また、総与信に占める割合は、2020年9月末と同水準で、1.47%となりました。

(単位：億円)

	2020年9月末 (A)	2020年12月末 (B)	増減 (B)－(A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	44	43	△ 1
危険債権	212	207	△ 5
要管理債権	7	16	8
合計	264	267	2

総与信に占める割合	1.47%	1.47%	-
-----------	-------	-------	---

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(3) 時価のある有価証券の評価差額 (単体)

○ 時価のある有価証券の評価差額は、2020年9月末比47億円増加して248億円の評価差額となりました。

評価差額 (単体)

(単位：億円)

	2020年9月末 (A)	2020年12月末 (B)	増減 (B)－(A)
有価証券計	201	248	47
株	146	176	30
債	16	17	1
その他	38	54	15

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(4) 自己資本比率 (国内基準)

○ 2020年12月末の自己資本比率 (国内基準) については現在算出中であり、確定次第、別途開示する予定であります。

(5) 預金、貸出金等の状況 (単体)

- 預金と譲渡性預金の合計額は、個人預金、法人預金ともに順調に増加したことから、2020年9月末比473億円増加し、2兆7,653億円となりました。
- 貸出金は、事業性貸出金及び消費者ローンが順調に増加したことから、2020年9月末比161億円増加し、1兆8,013億円となりました。
- 預り資産につきましては、公共債(国債等)は2020年9月末比10億円増加して317億円となり、また、投資信託は2020年9月末比9億円増加して511億円となりました。

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

① 預金等・貸出金の残高(末残)

(単位: 億円)

	2020年9月末 (A)	2020年12月末 (B)	増減 (B)-(A)
預金	25,570	26,210	640
譲渡性預金	1,609	1,442	△167
預金+譲渡性預金	27,179	27,653	473
貸出金	17,851	18,013	161

② 個人・法人別預金残高(含む譲渡性預金)(末残)

(単位: 億円)

	2020年9月末 (A)	2020年12月末 (B)	増減 (B)-(A)
預金等合計	27,179	27,653	473
個人	17,015	17,466	451
法人	10,164	10,186	22

③ 預り資産残高(末残)

(単位: 億円)

	2020年9月末 (A)	2020年12月末 (B)	増減 (B)-(A)
公共債(国債等)	307	317	10
投資信託	501	511	9
個人年金保険	890	884	△6

④ 消費者ローン残高(末残)

(単位: 億円)

	2020年9月末 (A)	2020年12月末 (B)	増減 (B)-(A)
消費者ローン残高	5,588	5,664	75
住宅ローン残高	5,310	5,386	76
その他ローン残高	277	277	△0

⑤ 中小企業等貸出金残高(末残)・比率

(単位: 億円)

	2020年9月末 (A)	2020年12月末 (B)	増減 (B)-(A)
中小企業等貸出金残高	11,244	11,413	168
中小企業等貸出金比率	62.98%	63.35%	0.37%